



2012 年度 入学式 新たな歩みの始まり



■私は CFNJ 聖書学院のことを兄が入学する場所として知りました、その話を聞いた当初は大した興味もなく「ふ〜ん、そんな所があるんだ」程度の感想でした。その話を聞いてから約4年後、その聖書学院に今度は自分が入学することになるとは。きっと4年前の自分に伝えても信じてもらえないでしょう、やはり神様の御業は人の思いでは計り知れないものだと思います。これから学院生活、主をもっともっと知るために過ごしたいと思います。主が導いてくださっていることを信じ、感謝しつつ。

(熊本県・1・2年コース) 西岡 恵嗣



■香港からやってきてもうすぐ1ヶ月です。来た当初は外は寒く人通りもまばらで、都会出身の自分にとって心細かったのです。しかし、学院と教会の皆さんも親切に接してくれて、そのおかげでだんだん慣れてきました。ここの雰囲気はとても霊的で、地元の教会とは少し違いますが、ここにいる間に聖霊に関することを学んで、それから神様が私を日本に送られた理由を見つけたいのです。日本語で神学を勉強することを少し心配しますが、自分なりにがんばっていききたいと思います。

(香港・1・2年コース) キャシー・リー



■神様の導きにより、この学院に入学出来たことを感謝しています。かねてより退職後はじっくり聖書の学びをしたいと思っていましたので祈りが聞かれてとても喜んでます。南の熊本から最北の北海道へ来て戸惑うことばかりですが、全てを神様に委ね楽しい学院生活を送りたいと思っています。皆様どうぞよろしくおねがいします。

(熊本県・1・2年コース) 中田 扶美子



■正しく神様を知る事。神様の愛で人を愛し、又、仕えられる人になること。2つの事を入学してから数週間で感じました。祈りの課題はたくさんありますが、お祈りしながら全て神様にゆだねていきたいです。揺るがない信仰が与えられるようにお祈りをお願いします。

(札幌市・1・2年コース) 石橋 薫奈



■「神のことは生きていて、力があり」ヘブル4:12 今回、聖書学院で生ける神様の真理の言葉、聖書の学びができることを主に感謝します。一日一日の学びを通して、三位一体なる偉大な神様に更に崇め、愛し、信じる者となっていきたいです。マラナタ主よ来て下さい！

(旭川市・1・2年コース) 森谷 泉



■CFNJ 聖書学院で再び神様の御心を知る機会が与えられたことをとても嬉しく思っています。人里離れたところで静まって神様に向き合う時間が与えられたことは何よりです。そのためにはさまざまな犠牲が払われましたが、それに勝る神様のご計画がきっとあると信じます。思う存分、学校生活を楽しんで主に栄光を帰したいです。

(韓国・アルプスコース) 全 東奭



■「神の恵みによって、私は今の私になりました」(1 コリント 15:10)。ALPS で学びが許されたのは、まさにただ、主の恵みと憐れみです。受けたものを、次の「ひとり」に手渡せるように、陶器師の手で練られていきたいと願います。この一年を通し、自分の召しを確信できれば幸いです。

(常広市・アルプスコース) 福井 大化



■今回 CFNJ のアルプスコースに入学出来て本当に感謝です。導いて下さった神様に感謝をささげます。日本の福音のために仕えていらっしゃる先生たちから直接学ぶことが出来、とてもうれしいです。授業の度にドキドキ、ワクワクです。これからたくさん事を学び、日本のリバイバルのために準備していきたいと思っています。学ぶことが出来る貴重な時間を感謝します。God bless you!

(韓国・アルプスコース) 伊藤 銀英



■学院を卒業して10年、ここにいることに自分が1番びっくりしています。昨年石狩市に引越して来ましたが、「はからずも」神様の計画がありました。麗しい賛美と素晴らしい学びを受けながら考えるテーマは「なぜ私のような者を」。1年後、答えは出るのでしょうか。箴言 3:5-6

(栃木県・アルプスコース) 篠原 めぐみ



参加者 125 名!

「Youth For The Nations 2012」



■今年も、5月3日から5月5日にかけて、「Youth For The Nations」がCFNJ聖書学院で開催されました。通算16回目を迎えた今年のYFNのテーマは、イザヤ書9章7節の御言葉からイエス様の主権の広がり限界がないように、私たちも学校や友達、恋愛や家庭における問題も、イエス様にあって突破して行こうということで「**限界突破!~ UNLIMITED! ~**」でした。

ゲストスピーカーには大阪から、エレベートチャーチ牧師の「佐々木拓也師」が来て下さり、また音楽ゲストとして、東北中央教会音楽主事の「中山有太師」が素晴らしい賛美を導いてくださいました。遠くは、関西からも参加者が来てくださいました。レクリエーションではチーム対抗スナックバトルや、雨天のため目玉の逃走中はできませんでしたが、昔話クリスチャンバージョンの即興劇など、それぞれ盛り上がりユース同士の繋がりが広がっていました。各集会ではYFNに集った約100名の若者たちに対し、「悔い改め」「献身」「イエス様が必要」という3つのテーマで熱く面白く語られました。やはり世界で一番ユースが好きだ!という佐々木師のメッセージには、参加者すべてがひきつけられる熱いメッセージで、ユースも、神様の前に心を開き、招きに応答していました。中でも「だるくない集会②」で、教職者に召されている人への招きがなされたとき、その招きに答えて10名以上の人たちが応答し、その中には中学生もいました。そして、まだ明確にはわからないけどイエス様に人生を捧げたい人への招きがなされたとき、多くのユースが応答し神様の前にひざまずき献身の祈りを捧げていました。また、札幌のユースの女の子

も自分が限界を決めずにイエス様を信頼して行動した時に、体験した神様のすごい働きを力強く証してくれました。本当に神様が、このYFNをと



おして、ユースに働きかけてくださり、ユースを変革してくださっている事を、確信する場となったことを感謝します。また、2日目に持たれた分科会では、「ユースリーダーセミナー」「ワーシップ」「セルフイメージの回復」「LOVE&SEX」という4つの分科会がもたれ、参加者もニーズに沿った分科会を受けて、よい学びの時となりました。そして、今回のYFNの参加者の中に、何名かのイエス様をまだ知らない人たちがいたのですが、その人たちにもイエス様が触れてくださり2名の方がそれぞれの教会で信仰告白し、イエス様を受け入れました。それで終わらず、その子たちをとおして、教会に新しい中高生が来てくれたという、証も届いています。イエス様の愛に応答して歩みだすとき、イエス様が想像を超える体験をさせてくださる方であることを賛美します。また、各教会でも、日曜だけクリスチャンをやめて、心からイエス様を愛しますというユースたちもおこっけてきているそうです。このように参加したすべてのユースが、その遣わされている場所で、自分の限界を超えたイエス様の素晴らしい働きを体験して行ってくれと信じ祈ります。そして、なにより、参加者が心からYFNを楽しんでくれたことが感謝でした。すばらしい主をほめたええです!

「その主権と平和とは、増し加わって、限りがない。」 ザヤ9章7節

